

京都第一赤十字病院で胃切除を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

胃癌手術における G8 スコアスクリーニング（高齢者機能評価を用いた研究）へのご協力をお願い

今回、京都第一赤十字病院は、胃癌手術における G8 スコアスクリーニングに関する研究（高齢者機能評価を用いた研究）を実施いたします。そのため、過去に当院で胃癌と診断され胃切除を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

胃癌に対する治療成績は近年の診断技術、手術手技、化学療法の進歩とともに向上してきています。しかしながら、我が国における 65 歳以上の高齢者の人口割合は総人口の 28.4%を占め(2020 年)、年々増加の一步を辿り、高齢癌患者治療において適切な周術期管理や治療は特に重要であります。高齢者に特有な身体的社会的脆弱性を術前から適切に評価し治療介入することで、術後合併症やひいては長期予後を改善する可能性があります。高齢者機能評価で用いられる指標 (G8 スコア：別紙)を用いて術前から周術期リスク評価を行うことで適切な周術期管理/介入につながると考えております。

研究の方法

・対象となる患者様について

2017 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までの間に、京都第一赤十字病院外科で胃癌に対し胃切除術を受けられた患者様が対象となります。使用させていただく試料・情報に関しては、性別、年齢、既往歴、血液検査結果、病理診断結果、治療経過内容等になります。

・方法について

診療録から胃切除を受けられた患者様で、術前に問診で得た G8 スコアと臨床病理学的因子や予後について検討します。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2026年12月31日までに下記連絡先までご連絡ください。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都第一赤十字病院 消化器外科

小西 智規 電話：075-561-1121

高齢者機能評価 (G8 スコア)

JCOG <small>Japan Clinical Oncology Group</small>	
1. 過去3か月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事が減少しましたか	0: 著しい食事量の減少 1: 中等度の食事量の減少 2: 食事量の減少なし
2. 過去3か月間で体重の減少はありましたか	0: 3kg以上の減少 1: わからない 2: 1~3kgの減少 3: 体重減少なし
3. 自力で歩けますか	0: 寝たきりまたは車椅子を常時使用 1: ベッドや車いすを離れられるが、歩いて外出できない 2: 自由に歩いて外出できる
4. 神経・精神的問題の有無	0: 高度の認知症または鬱状態 1: 中程度の認知障害 2: 精神的問題なし
5. BMI値	0: 19未満 1: 19以上21未満 2: 21以上23未満 3: 23以上
6. 1日に4種類以上の処方薬を飲んでいますか	0: はい 1: いいえ
7. 同年齢の人と比べて、自分の健康状態をどう思いますか	0: 良くない 0.5: わからない 1: 同じ 2: 良い
8. 年齢	0: 86歳以上 1: 80歳~85歳 2: 80歳未満

JCOG 高齢者研究委員会 高齢社研究ポリシーから抜粋